

大阪市会「都市経済委員会」を傍聴する

昨日 21 日 13 時から第 1 委員会室で開催された都市経済委員会を傍聴した。傍聴者が多いと思って早めに行ったが、一番乗りであった。傍聴者は 3 人だった。多忙なのに 3 時間余りも傍聴したのは、私が提出した陳情書審査、夢洲 IR カジノや万博の質疑が行われるからだ。

写真は「本日の議題」の一部である。陳情書第 113 号、大阪 IR カジノ「実施協定」締結を撤回し、慎重審議を求める陳情書、第 114 号、大阪・関西万博の中止・延期を含む抜本の見直しを求める陳情書は、私が 9 月 11 日に提出したものである。

大阪 IR カジノに対する陳情書審査は、まず坂本 IR 推進局長の説明から始まった。坂本局長は IR 事業計画などを説明して、陳情書への見解とすると述べた。理事者として陳情書に対する見解をきちんと表明すべきではないか。まずは腹が立った。

維新の藤田委員は、私の陳情書を意識して、IR 事業への市民の不安があるとして、IR 推進局との「なれ合い」的な質疑を繰り返した。とくに印象に残ったのは、IR を持ち上げる一方で、カジノについては一言も触れなかったことだ。IR について金額だけが独り歩きしているとして、マスコミ報道について注文していたことも。公明委員の質疑はこれまでと同じだった。休憩のあと、自民の前田委員が 30 分ほど質疑をしたが、IR 計画の問題点を丁寧に質していったが、長野 IR 推進課長らの答弁はいつもどおり。前田委員の質疑で、昨日レポートした「液状化対策」などは参考になった。

質疑のあと、陳情書の採択が行われ、維新が不採択、公明・自民などは引き続き審査であったが、維新の賛成多数で不採択になった。大阪 IR「実施協定」の市会としての慎重審議を求める陳情書が、維新により不採択にされたのだ。真剣に傍聴していたので、怒りが膨張した。議会で過半数を占める維新は、大阪市民に巨額の負担をもたらす問題で、議会のチェック機能を放棄したに等しい。

怒りが続くうちに、大阪万博などの陳情書審査に移った。こちらは多くの陳情があり、彌園万博推進局長が課題ごとに見解を表明した。万博は国家プロジェクトであることを強調し、海外パビリオンなどを除いて順調に準備が進んでいると。維新の幹部が言うように、大阪府市より国の事業ということで、あまり危機意識が感じられなかった。万博協会の情報公開に対する陳情に対し、法人としての協会の運営を阻害するので困難だと。この煮え切らない見解表明を聞いて、委員会室をあとにした。

2. 報告及び関連する陳情書の審査	
大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域整備関連協定（案）等について	
【報告に関連する陳情書】	
(1)	陳情書第113号 大阪IRカジノ「実施協定」締結を撤回し、慎重審議を求める陳情書
(2)	陳情書第125号 夢洲で計画されている万博とIRについての陳情書
(3)	陳情書第131号 大阪IRカジノ「実施協定」締結を撤回し、慎重審議を求める陳情書
3. 陳情書の審査	
(1)	陳情書第105号 大阪万博の中止を求める陳情書
(2)	陳情書第114号 大阪・関西万博の中止・延期を含む抜本見直しを求める陳情書
(3)	陳情書第119号 2025大阪・関西万博に際して、労働時間の残業規制対象外とすることを認めない陳情書
(4)	陳情書第120号 大阪・関西万博での工事の進捗遅延問題での責任回避を戒める陳情書
(5)	陳情書第121号 2025年大阪・関西万博についての再度の工期見直しについての報告を求める陳情書
(6)	陳情書第123号 大阪万博の中止を求める陳情書

(2023年9月22日)